慶應志木会会報

慶應志木会(慶應義塾志木高等学校同窓会)

1990(秋・冬号) vol.4

収穫祭よ！　青春よ!!

甦えるか、あのひととき……

11月3日(土)、4日(日)

講演会　泉　麻人氏（コラムニスト）　11月4日(日)

福引アンドサロン　11月3日(土)、4日(日)

が実感として迫ってきますが、まさに素晴らしい卒業生が社会の各層で活躍している姿に接するのはこれこそ教師冥利に尽きるものと実感しておる今日この頃です。鈴木氏の横溢するバイタリティーに拍手喝采を送り、今後益々の発展を祈念いたしたいと思います。

鈴木氏講演要旨

只今校長先生から御紹介を戴いた弁護士の鈴木祐一でございます。そもそも私は単なる弁護士でとても諸君の前でお話をすることができるような男ではありませんが、校長先生から是非話をといわれたその理由は、私の経歴が少々変っているからだと思っています。

つまり学生時代「悪餓鬼」だった男でも、努力すればなんとか「特捜検事」「弁護士」になれる、ということからだと思います。

私は昭和三十七年慶応志木高に入学しましたが入学後ラグビーに夢中になり、その後大学卒業まで私の生活はすべてラグビーを中心に廻りました。慶応志木高時代には国体やインターハイに出場することはできなかったものの、大学では卒業の年昭和四十四年に大学選手権で早稲田と引き分け、抽選で慶応の初優勝、社会人のトヨタ自動車には敗れました。しかし高校・大学とラグビーばかりということから当然のごとく成績は最悪、いざ就職という時にはあまりの成績に就職先は皆無という状況でした。そこで学士入学し直し司法試験を目指し、合格の後、「日本の国から暴力団をせん滅しよう。悪は許さない」との志のもと検事に任官しました。その後検事の仕事を続けていく中、暴力団の上前をはねる巨悪をやっつけたいと思うようになり東京地検特捜部の検事に抜てきして戴き数々有名疑獄事件を担当して現在退官して弁護士をやっているわけです。私の経験から諸君に是非申し上げたいのは「決して諦めるな、努力すれば可能だ」ということと「不合理に耐えよ、それがバネになる」ということです。私の司法試験挑戦の時その惨たんたる成績から「あいつが司法試験を受験するなんて気違いだ」といわれましたし、特捜検事のころ不可能と思われることも可能にしてきました。それはやみくもにただ努力するのではなく、事案を分析し効果的に懸命な努力をしたからだと思います。又不合理に身を置くことは、その不合理が将来のバネになることは確実です。諸君の健闘を祈ります。

3期生～5期生 座談会

志木会の活性化を図ることを目的として、幾つかの期に分けて、それぞれの志木高校在学時の思い出を語る〝座談会〟が企画されるにいたりました。

今回は3期生と4期生、5期生による座談会の模様です。

参加者：菅野光男、品川仁、戸塚芳正、溝渕博亮（以上3期生）、伊藤金次郎、植松節司、立岡進（以上4期生）、関山清、寺嶋延行、林成郎、藤井潤（以上5期生）

司会　古い志木高時代の話を知りませんので、当時の学校や学生のことについてとか、志木の環境についてなどをエピソードをふまえてお願いできればと思います。

立岡

立岡　今日はここに4期が3人来ておりますがね、あの、1年から入学した者は残念ながら一人もいないんですよ。当時は編入がありまして、同僚の2人は2年の最初でね、私は2年の後期から。だから在学期間がまるっきり1年半位しかないんですよね。農業高校に。

品川　でも一番いばってる…

立岡　そんなことはありませんが（笑）。それにしても農業高校っていう名前は聞かされていましたが、あの実習はね。もし入学する前に知っていたら入らなかったでしょうね。

伊藤

伊藤　当時の農業実習は週に一度、朝から3時か5時頃までやりましたね。そういえば、3時におやつがでたかなあ、さつまいもとかじゃがいもとか…（笑）。

植松　あの実習は、みんな喜んでやったのはいなかったと思うけどね…それは辛かった。

伊藤　だけどあれを一生懸命になってやらないとね、いい成績つけてくれないから。大学推薦の評価のポイントになっていましたからね。

植松

植松　大変だったよね…馬糞をねえ…固まりをねえ…いや本当ですよ…あったかいんですよ。それを手でもってほぐしてねえ…まくんですよ。今やれと言われたら、できないね。

一同　できない、できない。

菅野　そういえば、僕達は「農高」「農高」と言っていましたが、志木高校になったのは何期から？

戸塚　10期から志木高でしょう。収穫祭だけはうれしいことに、今も残っていますね。

寺嶋

寺嶋　収穫祭では一つ思い出があるんですよ。先生は大館さんか建部さん、おまえちょっと手伝ってくれと言われて、バターとハムを作りましてね、それを売ったんですよ。

伊藤　僕はハムをスモークするためにドラム缶を逆さにするのを手伝わされてね。売るのもやったですよ。そしたら、売上の中からおこずかいをもらいましてね（笑）「もらっていいんですか」って言ったら、「いいんだよ」なんて言われてね。

藤井　動物でいたのは、牛、馬、豚、鶏、あとは学生。（笑）

溝渕

溝渕　リヤカーに干した牧草を積んで牛に近づくでしょう。すると、わっと追っかけてくるわけだ、牛が。で逃げるんだよね、棚から飛び上って。そしてまた追っかけてくるまでそばまで行って、サーッと逃げるわけですよ。

藤井　乳しぼりもなかなか出ないんだよね。

菅野　とにかく一面畑と牧場。駅前だけに定食屋があっただけだね。

溝渕　我々の時代はね、立教側がなかったんですよ。志木高側しか出口がなくて、新座側の出口はなかったんですね。

伊藤　一番早い出口は、電車が通りすぎた後ホームを降りて横切ると、学校へ真っすぐの近道なんだ。

溝渕　急いで乗るときなんか、一人が線路を渡って電車の前で「待ってくれ〜」と言っている間に、みんながどっーと乗っちゃってね。運転手とけんかしたものですよ。(笑)

関山

関山　東上線もひどいもんだった。2両編成の、まあ芋電車といったものでねえ。

立岡　当時、大船あたりから通ってた人もいて、暗いうちに出て暗くなってから帰った。

林　逗子、鎌倉や千葉、船橋からも通っていましたね。

藤井　僕なんか日吉から渋谷に出て、池袋から志木へ通っていましたが、何となくポイントで日吉に行く奴とすれちがうんだよね。

立岡　でも日吉の高校生の方が不思議に思ったでしょうね。

品川　むこうは農高のこと、あまり知らないようでしたよ。慶應は日吉しかないっといった具合いで。(笑)

藤井　野球部は日吉と定期戦していたから連中は農高のこと知っていたけれど。

品川　僕なんて体操でしょう。だから毎日練習に行くわけ、三田か日吉まで。試合に出るときは慶應高校でしょ。国体に出たときも、慶應高校ということでしてね。非常に複雑な心境だったですね。

選挙権のある生徒

戸塚　そういうこともあってか、志木の生徒は色々個性的で年齢の幅もあったものの結束は強かった。

寺嶋　池袋なんかでね、他の学校の奴らに因縁つけられる。そうするとね、一致団結するんだよなぁ。—全員うなずく—

戸塚

関山　田端の駅でも一度あふれてしまった事があったね。相手は城西だったな。

伊藤　いや城西は助っ人を頼んだんだ。

藤井　僕たちは早慶戦の前に日吉の空手部の連中とやってしまってね。昔の後楽園ホールのロビーで。あれはもう大さわぎ。

戸塚　年齢の幅も広くて、志木の生徒はおじさんばかりでびっくりしましたよ。当時22才位の方もいらしたんじゃないですかね。

関山　年齢制限はなかったんだろうね。

菅野　選挙に行くってのもいたね。(笑)ほんとうに行ったかは知らないけれど。

品川　あと表向きは大学生なんだよね。だから池袋でボタンを取りかえるのよ、全部。帽子はとればわからないでしょう。で、酒を飲むわけだ。こういったおっさんもいれば、いかついた人もいた。今思い出すのは原田さん。学校終わるでしょう。門の前に彼女を待たしているんですよ。これが素晴らしい彼女でね。みんな遠くからこうやって眺めて、すごい学校だなんてね。(笑)

品川

菅野　そろばん塾の先生もきてたもんなー。

自由な校風、身心に染みる

林　修学旅行は九州に行き、中津の福沢先生の生家を訪問しました。

植松　4期は修学旅行なかったから、5期から始まったんでしょうね。

藤井　修学旅行ではね、別府の旅館で引率の先生と一緒に酒を飲んだ記憶がある。

戸塚　もっとも現実には、たばこはうるさいし、酒も学則で決められていた。

立岡　それから制服もうるさかったでしょう。つめえりの学生服を着ないとね。

品川　学帽もかぶっていないとうるさかった。もっとも、あの当時は慶應はあこがれだったんだけどね。

戸塚　福沢先生の命日には毎年墓参りに行きましたね。今は自由だけど。

立岡　あのときはもう半強制的ですがね。

品川　お墓参りに行くと留年しないっていうジンクスがあるんで行ったけれど。

伊藤　だいたい福沢先生の命日がすむと期末試験が始まるのかな。２月３日ですか。

菅野

寺嶋　２月の３日ね。だから、お参りしとけよっていうんで、各高等学校、中等部、みんな来て、ぞろぞろ目黒の駅から歩いていきましたよ。

菅野　それから、宮崎校長が『学問のすすめ』をやっていたでしょう。

伊藤　あの文庫本でね。みんなこれ買いなさいって言われてんの。

寺嶋　宮崎校長は１週間に１回だけど、『福翁百話』を紹介してくれました。これがね、１週間に１つテーマを決めて、それを先生が解説していくの。ところが我々、読めないんですよ、これが。

伊藤　『福翁百話』の中でね、そろばんていうのを、とろばんと書いてあるんですよ。「十」という字に「呂」、それに「盤」と書いて、これはそろばんのことだよって宮崎先生おっしゃっていたね。

林

寺嶋　みんなでその本をもって１行ずつくらい読むわけですよ。それで、先生が口語体にしてくれて説明してくれる。私１つだけ覚えててね、実践したんですけれど。「早婚必ずしも害ならず」って、学校でてすぐ結婚しました。(笑)

林　こういう点でも、慶應義塾に学んでいることを、やっぱり身に染みて思うね。管理教育でない自由な校風は慶應義塾の３つある高校の中でも一番いいんじゃないかなぁ。

藤井　それに自然を相手にしたからね。これは大きなことですよ。自然を友にできるなんて、人間形成に最高じゃないですか。

藤井

品川　僕らの頃は校歌があったな、農業高校のね。

植松　４期に高橋ってのがいるんですが、この親父が有名な作詞家で作ってくれました。

溝渕　最後の慶應農高、農高って所があるんだが、あれをね、みんな慶應、慶應、慶應って歌うんだよね。(笑)

釣り愛好会

釣り愛好会は私たちが２年生在学中に、釣り好きが集まって結成されたサークルである。

夏休みを利用した南房総相の浜での合宿は今でも鮮明に記憶が残っている。明け方や夜を主体に１日12時間に及ぶ釣り、日中の釣れない時間帯の海水浴等、１日４～５時間の睡眠で良く続いたものである。夜釣りの時、夜光虫で輝く水面に漂う電気ウキの淡い光が満天の星に透け込みそうになる光景がまぶたに焼き付いているのは、感受性の強い年令だったからかもしれない。

「同じ釜の飯」にこだわるわけではないが、当時の仲間達と月１回の会食と年１～２回の釣りを兼ねた小旅行を重ねて来た。途中、転勤等で参加人数が少なくなりつつも、今だにこの集いは続いている。また、年末は「牛尾先生を囲む会」を開催し先生と語らいの場を持つ会も継続している。そう言えば、わずかな睡眠時間の合宿中、全ての活動を指導された先生は、当時今の私たちの世代。只々、その体力に敬服する次第である。

(池浦昭彦　記)

訃　報

※有坂幸三郎君(1期)　　平成2年9月28日

収穫祭に再び参画
青春の一コマ!

志木会イベント

◯講演者　泉　麻人 氏

日時　11月4日(日)12時30分
場所　体育館（入場無料）
主催　慶應志木高校収穫祭
　　実行委員会
協賛　慶應志木会

◯福引　アンド　サロン

日時　11月3日(土)、4日(日)
場所　志木高校会議室

時はめぐりて……
あの収穫祭にいま一度

会員諸兄にとって高校生活で思い出深いものとはなんでしょうか。
収穫祭、クラブ活動、農芸、それともガールフレンド？

一度は母校を訪ずれてみたい。そんな思いはどなたにもおありと存じます。収穫祭はまさに絶好の機会。志木高校にはいまも武蔵野の面影が随処に残っています。秋の一日、旧友やご家族お誘い合わせの上お運びいただけませんか。

そんな皆様のため志木会では昨年に引続き左記の企画で皆様をお迎えすることになりました。
更に当日は在校生諸君の展示や対校試合等多くの興味あふれるイベントが企画されています。

（行事委員）

寮生注目!!　収穫祭に集結せよ!!

「つちくれ」想い出の閉舎号完成！

寄宿舎閉舎後初の土塊会総会を下記の通り開催いたします。今後寮が間近では見られなくなるかも知れませんので、皆さん奮って高翔寮前芝生に集合して下さい。待望の機関誌「つちくれ」閉舎号を舎監の先生方より手渡しいたします。(入舎当時の顔写真・名簿第十号付です。)

―― 記 ――

日時　平成2年11月4日　日曜日　午後2時より
場所　高翔寮前芝生　(雨天の場合物理階段教室)
費用　「つちくれ」代　弐千円也。パーティ代無料
トレンディな後夜祭もお楽しみ下さい。
残念ながら当日参加出来ない方は、「つちくれ」代参千円を下記口座にお振込下さい。終身会費未納の方も同様です。
振込先　第一勧業銀行東京中央支店普通預金
　　003-1250463
名　儀　慶應義塾志木高等学校寄宿舎同窓会
　　土塊会会長　岡本經世
※会費等問い合せ先　須永泰司
　　Tel 03-596-5012

名簿委員会よりのお願い

来たる平成３年の名簿改定にあたって以下の会員の方々の住所などが不整備です（平成２年９月20日現在）。より充実した名簿発行のために会員皆様のご協力が、ぜひとも必要です。お忙しいこととは存じますが、調査方々お願い致します。判明した方については同封のハガキにて事務局までご一報の程をお願い申し上げます。

第１期

安斎嘉一郎
相原　喜一
秋本　隆男
生田　一哉
石田　隆一
板橋　澄男
今江　照雄
大沢　睦玄
加藤　明
川口　貞治
黒瀬　武雄
笹岡　伸吉
篠原　祥郎
下遠　武勝
鈴木悠基男
祖父江有司
多田　躬鋤
高木　敏雄
高橋　忠治
対島　剛一
中西　㫜
間中　義雄

第２期

嵐田　三郎
宇津木貞夫
江成　敏夫
加藤　英治
兼田　重剛
木田　和夫
佐藤　克己
佐藤　邦雄
津川　豊
戸田　浩
堂本　誉夫
中村　信夫
永山　誠一
姫路　昭
松宮　一郎
宮野小太郎
本橋　隆一

第３期

東　明良
伊勢　吉春
池尻　勉
岩井　和也
上野　良明
梅原　耕一
海老沢　清
小田切康彦
岡本　幸平
荻野　和己
奥野　博紀
小宮　元治
河野　啓
榊原　幸道
鈴木善一郎
高村　光男
塚越　一二
三田　佳保
村上　哲次
山下　彬
山本　康邦
横川　勇

第４期

石原　浩
植松　節司
近藤　善夫
二階堂好夫
吉岡　剛博

第５期

浅見　邦夫
井堀　繁雄
岩田　洋治
館野　勝
多木　温夫
草柳　進
田中　保男
田村盛一郎
多賀　博
高山　信幸
丹野　英次
平野　宏人
福田　博定
村岡　宏
望月　浩美
森田　昭夫
山崎　嵜
山本　吉璋
湯村　嘉朗
吉居　正裕

第６期

井上
小沢　毅
大久保好蔵
大里　厳
荻野　高司
粕谷陽一郎
金森
川崎
木城　章夫
黒川　博元
小西
笹野　昭
杉本
谷口
辻本　和之
中山　貴雄
堀
森川　宗祐

第７期

岩崎　浩一
岩野　一彦
小田　英雄
鎌田　哲雄
鈴木　一男
中村　勝雄
林　一身
細井　稔
三浦　㐂

第８期

味戸　美樹
天野　威之
井上　洋二
内堀　秀虎
大久保一成
下薗　四郎
鈴木　迪雄
長島　文和
野中　光政
藤川　俊彰
本田　光徳
前田　裕二

第９期

岩井　清方
岡田　威夫
亀尾　康憲
小林　紀
小林　武
佐伯　和雄
佐藤　義夫
桜井嘉一郎
城崎　秀一
鈴木　基晴
高仲　栄一
高橋　国男
長澤　史樹
舟久保博克

第10期

小林　浩一
関山　晃司
多根　司
高橋　洋一
西井　浩哉
後宮　良威
小田　英樹
大橋　一彦
岡谷　彰矩
栗山　格彰
柴田　陽弘
白川　昭
塚田　正昭
西村　陸
福田　宏
宮崎　尚義
村瀬　省三
吉田　英樹
円城寺郁夫
佐藤　洋之
佐野　強一
斉木　一
関口　裕志
柳川　清一
渡辺　俊男
伊東　篤夫
今中　康夫
大谷　英石
奥村　隆一
官林　秀樹
上不　守康
守屋　宣照

第11期

池田　嘉秀
市川　清
扇原　浩志
木脇　俊隆
北木　孝
小村　俊明
石沢　太郎
鈴木　哲夫
竹之内　仁
西山　克彦
細井　正弘
阿部　良三
秋成　恭行
佐藤　宏
桜井　浩
須田　泰明
成瀬　安彦
古川　康中
古田　正毅
吉武　勝
石橋　徹雄
加藤　倫義
金木　邦夫
木津　迪郎
栗山　透
松島　陽三
吉原　守彦
原田　治
山口　侑二
井上　武彦
木下　良策
木村　昌彦
高塚　仁郎
高山　暢二
中島　実

第12期

今村　洋一
唐鎌　潔
楠　亨
阪脇　通正
藤岡　文孝
藤倉　宗孝
村上　糺
荒沢　信夫
白壁　征夫
辻　欣志
中村　直昭
野呂　和俊
牧　真也
松島　保正
山本　典嗣
小石　淳
瀬川　昌臣
本田　孝
牧野　準一
村田　良昭
今井　豊
小田　元彦
大石　迪夫
大岡　洋
大西　公男
嶋根　平吉
野末　正孝
深谷　皓孝
福井　信行
松井　正典
森村　裕二
横尾　政直

第13期

唐鎌　潔
久礼　初男
後藤　昌三
長浜哲一郎
藤代　勤
水野　善弘
森　勝幸
阿部　鴻平
内田　信夫
岡　匡嗣
小林　康雄
腰原　敏正
清水　季雄
高橋　誠
丹羽慎一郎
西出　隆雄
服部　宣孔
浜田　昭雄
藤里　尚孝
本田　豊
溝口　哲仁
吉田鋼一郎
石村　烈
大木　俊雄
片岡　洋一
菊間　裕展
葛井　統
栗田　勝也
五箇　博之
佐羽　俊男
斎藤　吉昭
田代　光彦
福地　広彦
棟田　直毅
百瀬　廸男
矢部　貞臣
山本　雄一
若田　楯彦
渡辺　八郎
伊川　巌夫
大崎　洋助
大城　薫
大隅　勇次
兼子　誠
鴻巣　維彦
佐藤　真也
阪脇　通正
渋谷　健治
島田　忠夫
中井　康雄
村岡　泰夫
百崎　直也
山本　泰
若林　琉生

第14期

大戸　武元
落合　豊隆
加藤　精一
五郎　治
中山　皓
村瀬　興紘
森田　亘一
香川　正典
清水　博夫
椙田　雅美
瀬川　徳治
関　豊太郎
高橋健太郎
鳥羽　映一
広瀬　泰彦
八木　義矩
大山　秀隆
黄　龍雄
周防　仁海
中尾　公一
中村　常雄
西浦　文崇
播　稔
福永　二郎
柳川　源二
磯　公則
岡　武人
岡本　秀樹
神山　昌之
高橋　伸彦
頓田　悌二
中島　康雄
中田　三郎
真島　良次
棟田　直毅
和島　晃

第15期

荒　邦彦
神出　民生
永井　修二
半田　昇三
小野　直
岡村　俊夫
坂口　俊
高井　真一
新井　正隆
川村　邦生
小寺　隆之
小山　和人
谷口　則夫
岩倉　具伸
西野　信也
元田　隆之
森　保晴
山本　昂生
阿部　久正
大村　泰三
楠田　格
鈴木　慶一
西山　裕之
野村　明徳
山中　晃一
横沢　和司
若林　紀生

第16期

一色　伸夫
今井　正弘
今泉　裕行
岩田　真
内田　一朗
梅田　利之
小沢　邦宏
小沼　哲夫
大沢　博史
大島　治
奥田　次郎
工藤　親彦
佐々木直人
坂本　邦夫
里見　修
塩入　啓正
塩沢　真二
重田　吉宏
清水　節
須釜　一夫
鈴木　智博
関　隆夫
関谷　直人
多田　常紀
高橋　清
高橋　幹夫
竹田　拓弘
露木　滋
中川　一彦
中村　晃三
長沢　彰彦
根本　圭治
橋元　一郎
原　伊作
坂東　宗文
平尾　恵一
藤ノ木　翁
藤村　和明
松尾　隆
松岡　光彦
松下　正義
松谷　洋
三原　洋太
宮坂　光正
森田　泰史
八並　俊太
矢沢　径雄
安田　誠吾
柳沢　良夫

第17期

村岡　達郎
打矢　功一
江川　陽一
圭岐　照雄
田中　雅一
滝沢　透
生江　雅則
藤田　秀夫
森　裕雄
青山　高志
熊木　道郎
柴田　均
高橋　伸行
武石　恒明
藤井　正敏
小川　光一
川口　雄次
張　英鴻
中島　寛
根木　圭治
増田富佐男
松井　博行
村上　恵一
青沼　広海
牧　兼生

第18期

新井　知治
池尾　博文
小野沢義雄
大場　紹吉
斉藤　仁志
坂本　好司
榊原　昭正
鈴木　宣雄
田中　秀和
高橋　徹夫
竹沢　美治
生井雄一郎

末富　幸治
田中　茂之
田田　浩二
武田　治伸
塚田　秀夫
長井　昭
長沼　明
仁平　康雄
藤倉　敏幸
古川　修
増原　康介
山田　清史
安保　宏
井手　洋司
石崎　宏之
江成　洋一
江森　慎介
北川　宏之
国枝　孝夫
倉持　貞
小泉　茂雄
小倉　良男
五味　雅一
佐々間　伸
佐藤　憲一
佐野　信裕
田蔵　仁
田野口　敏雄
竹中　拓司
塚本　昌司
豊島　滋男
中村　誠
藤堂　秀隆
町田　裕之
松本　昌久
依田　達也
稲垣　雅彦
宇野　次郎
笠原　雅昭
雲谷　秀行
小林　祐
近藤　裕久
桜井　正紀
地引　豊昭
関口　寿郎
宗　幸　正明
詫間　康　卓
友永　聡　義
平田　泰一
藤瀬　賢一
森田　洋守
米田　原有
李　輪湖　廣
若井　勝人
渡辺　規之
石沢　輝
市村　隆夫
金田　一郎
日下部　健良
小林　和正
御前　宏利
合瀬　公夫
近藤　幹夫
沢田　尚之
関　典吾
高野　健哲
竹本　朗
辻　正人
内藤　孝之

第25期

青木　龍夫
五十嵐友一
伊藤　英作
上村　肇
近藤　有司
宮林　寛
武藤　和豊
矢守　茂
米沢　篤
小松　栄二
佐野　吉弥
坂口　博邦
仲西　員実
萩原　利昌
三浦　常雄
向山　純
村田　貢
山口　豊
吉井　伸二
若林　利明
小池　秀彦
小林　雅春
近藤　幹夫志
杉谷　卓志
高山　宗久
玉井　良
鶴田　雅明
原　和史
三井　禎浩
北島　一也
寺田　孝
中島　康輔
中野　恒則
野原　之
原　文比古
藤原慎太郎
大山　親
神原　雅人
川手　隆
北原　衛
堀内　広宣
山県裕一郎
内野　三朗
大野　哲博
門田　敏
川上　純一
小島　俊郎
清水　利男
菅井　毅輝
土井　繁吉
根岸　壮元彦
長谷川　泉
福井　浩平
安井　泰弘
山田　裕
横山

第26期

飯沼　芳久
飯室　昭宏
市川　久伸
海老原一夫
大森　正之
加藤　博
木山　靖史
後藤　博

安　速男
木　忍
高木　夫
高梨　和孝
深沢　孝雄
渡辺　弘章
小倉　敏弘
左藤　裕章
相馬　堅一
田中　康之
高田　秀雄
沈　正春
土屋　雄司
戸所　邦弘
宮嶋　泰
森田　栄一

第24期

秋吉　満
井上　隆志
伊藤　裕章
岡田　章
佐々木英雄
佐藤　信雄
菅谷　一博
鈴木　敏文
関根　一彦
石倉　啓吉
金沢　正人
金成　弘毅
小寺　方之
杉本　東
津久井高志
野村龍一郎
松木　弘志
松高　元志
山崎　康司
伊藤　博
飯村　和之
風尾　幸彦
風嵐　祥平
小松　威彦
清水　克史
松本　広之
南谷　尚志
新垣　直也
高木　潔
時友　謙吉
松本　正
油納　正雄
石田　克彦
木崎　昌弘
田久　浩志
沈　正春
寺沢　朗夫
中島　史雄
檜貝　敏介
松田　敦宏
藪下　律夫
渡辺　弘道
明石　毅
菅井　広見
高橋　善一
谷口　隆一
手塚　啓樹
徳納　晴美
松岡　裕
山田

横山　公明
新井　由夫
五十嵐正博
石井　敬一
石川　広高
石塚　拓郎
稲川　善英
風間　聖二
勝谷　徹
木村　和男
坂本　恵二
戸田　幸博
鳥羽田哲男
根本　真
萩原　照久
深沢　進介
福田　正雄
山崎　洋
渡辺　周央

第19期

井上　慎一
石田忠比古
酒井　真人
鈴木　俊夫
仲野　遵
石井　敬一
黒坂　隆
矢内　忠晴
若松　仁
穴沢　洋一
岡田　秀樹
須田　俊雄
岡　正孝
縞沢　武郎
谷　直人
長山　征広
松原　邦秋
黒沢　純夫
志賀　敬
浜　彰一郎
増田　和義
水島　順一
村上　功
山本　秀己
池田　忠行
石川　敬
内田　道夫
大谷　明裕
大谷　望
加藤　秀寿
佐川　純
山形　一郎

第20期

沢田　直治
島村　圭亮
冨樫　慶一
野口　直幹
船津　睦夫
ジョン・T・ユンカーマン　健
芦沢　克巳
池戸　敏之
磯野　光伸
小黒　隆
小沢　昌実

奥村　茂
落　裕美
佐藤　彰
佐野　鴨彦
菅原　瑞夫
田辺　秀明
平林　隆男
八木　登
山口　博永
山田　隆正
山本富士夫
横井　克之
植村　和人
神谷　研史
小林　隆夫
後藤　繁行
林　茂
福原　俊雄
岩中　光明
小沼　均
岡田　稔
川満　正夫
北島　喜六
行田　裕司
小島　良一
佐原　藤雄
須藤　薫
福地　俊幸
水野　保
宮田　潤一
山崎　英正
山田　行
伊藤　文明
稲原　淳一
海野　和雄
荻野　耕平
木原未知也
清野　雅彦
佐藤　和義
杉戸　俊一
鈴木　傑
関根　正博
中山　善英
菱田　真也
平井　幸彦
古川　雅裕
松島　扶行
三島　英文
今野一比古
木原　弘人
佐野　和男
内藤　薫
西巻　尚樹
畠中　和郎
藤野洋一郎
船戸　俊明
古西　勇武

第21期

石井　和喜
石山　吉男
江波　健
柴田　則夫
寺西　克己
小川　博
木住野隆茂
北村　雅宣
田原　良美

高畑　武司
松原　正治
水上　義也
森田　克則
倉垣　克
栗原　正人
斉須　龍一
手塚　博之
伝田　英男
伊吹　信一
衣川　潤
今元　寛哉
岩下陽一郎
上原　秀幸
刈田　一道
倉持　秀生
末包　善伸
杉本　恭輔
寺西　正己
水沼　龍男
村上　陽
森山　宏紀
伊藤　文隆
卜部　恭治
外島　英夫
津保祐一郎
柳沢　辰也
山岡　尚哉
飯田　浩
小林　一
辻　芳彦
橋本　論
吉村　浩

第22期

五十嵐信哉
大橋　雅法
神田　貞利
北原　正敏
霧生　淳
倉林　伸行
須田　光明
竹田　篤
土井　宏之
三右　進
宮田　隆之
森谷誠一郎
横山　利夫
阿部　三樹
上田　孝宣
大村　幸和
白石　治秀
杉山真一郎
谷口　清
松尾　英介
三木　哲郎
三富　健
森部　淳
内田　哲也
金森　良純
木佐貫明弘
小島愛之助
清水　芳朗
曾根　清昭
竹内　誠
塚本　勝己
野口　仁
花岡　克明

安田　正信
山郷　雄彦
天野　誠一
小野健一郎
佐藤　孝
中本　浩司
西方　秀
増田　裕
迎　哲郎
山本　幹彦
依藤　光宏
梅戸　俊明
島　敏明
鶴谷　信之
野崎　裕司
浜野　紀男
安田　二通
山内　鋼
吉田　淳
稲原　茂
占部　隆樹
小田　善明
大沢　清隆
川瀬　勝
川辺　俊一
小柴　茂
篠塚　秀男
鳴岡　正充
杉浦裕三郎
染谷　靖史
高田　淳一
高橋　宏
中尾根靖司
長沼　信治
登本　貴夫
福田　芳夫
藤居　光一
丸山　晴久
谷貝　博康
吉岡　仙弥

第23期

井出　雅彦
一柳　安孝
大島　慎一
岡沢　健治
岩本　秀人
榎本　速次
小川　正司
菅　健二
桐野　耕巳
塚本　勝達
豊国　圭太郎
中田　薫
串田　博
斉藤　博志
畠山　尚二
山本　礼司
吉田　隆史
井上　博史
柴　俊一
鈴木　晋一
田熊　大二
田畑　譲司
豊村　隆治
福興　宜治
山中　義博
須山与志雄

宮崎　小吾
毛利　裕二
東海林　毅
坂田　利行
柴垣　律雄
加藤　朋之
上原　淳
桜井　武
瀧山広一郎
沼田　武彦
三好　豊
森本　悦朗
松永源太郎
安弘　裕二

第38期

田中賢一郎
古屋　直人
上野　直
河田　一郎
中村　直人
葛西　克彦
土田　成彦
西川　亨
川又　寛之
菊池　衛都

第39期

池田　博一
大塚　剛
林　浩之
松本　圭太
北田　亮
世良　州
津村　正晃
富原　大雅
羅　伯丞
粟倉　高志
大森　貴夫
香村竜一郎
日高　崇介
鳥越　修
内藤　昌史
中嶋　崇人
福田　泰

関　雅文
立田　雅人
富岡　浩
新美　誠
加藤　宣之
倉島　一浩
中村　宗之
室中　健司
渡辺　直哉
安斎成一郎
有田　真
岸沢　進
大野　啓史
高松慎一郎
横田　哲郎
久保　修一
庄山恵一郎
白川　智章
瀬戸川賢二
田中　充
西本　新也

第35期

大沢　宏樹
日下　徹
松本　康一
佐々木隆政
加藤　哲也
杉山　透
樽見　健治
中川　正一
西沢　一嘉
満田　理夫
湯田　貴史
脇谷　英治
石谷　樹人
金　周煥
真鍋　宜剛
山田　浩三
小川　昌宏
大石　学
大原英二郎
斎藤　正則
中野　智之
二瓶　洋
森　修
山崎　猛
和田　悟
原　啓一郎
山本　浩司
渡部清一郎

第36期

安藤　誠
石塚　靖司
長田　展明

第37期

納所　伸樹
村橋　正之
山口林太郎
瀬戸　研司
萩野　啓太
松川　哲也
上野　健二
川又　陽介

大森　信彦
木津　光司
木村　俊一
高橋　達雄
東泉　吉彦
永山　昌宏
真鍋　佳通
浅見　朋直
沖永　和貴
志田　正人
神宮司　隆
高林秀一郎
寺田　洋
中村　耕一
山田　容敬
大里　恒之
黒田　直哉
込戸　龍男
杉岡　正寛
園田　彰

第33期

内倉真紀人
大久保和征
城戸　卓人
寺本　宏国
友好　真一
半谷　順
長谷川　洋
林　信濃
松本　和也
山田　鉄水
阿部　浩
伊藤　嗣
大塚　真彦
久野　俊也
佐竹　直樹
長久　聖
平山　光恵
大塚　和男
外尾　竜一
中根　貴弥
西脇謙二郎
古沢　秀彦
松岡　洋介
八木　隆
安達　篤史
綾井健太郎
高野　禎泰
宮本　雅洋
元橋　豊秀
安富　淳
山下　昌彦
稲村　隆司
野矢　敦
服部　寛
樋口　恭行
岡田　直也
佐々木俊太郎
増田　幸弘
横浜　雅彦
渡辺　亮

第34期

鈴木　宏治
宇賀神　隆
北　裕光

中村　昌義
成田　出
和田　一彦
大滝　正明
河口　勇治
白石　丈典
新村　浩
細井　貞男
屋代　真孝
内林　徹
緒方　寿夫
小宮山和太郎
小山　淳
古垣内．聡
多和田博一
大胡　俊武
中村　淳
宮木　昌幸
村重　望
山下　浩史
米谷　慶一
大谷　直誉
北島　英樹
高椋　喜幸
鳥居　映彦
名古屋利夫
原　秀博
丸田　秀実
上田　晋司
小沢　治之
小野塚　淳
尾形　修
大曽根尚司
茅野　徹
倉持　英樹
阪本伊知郎
篠田　敏暢
清水　茂仁
親崎　隆志
高橋　直人
徳田　伸一
長谷川哲也
藤村　直幸
横山　宗夫
吉田　晋

第32期

植島　俊幸
馬野　俊彦
榎本　裕
門叶　充弘
高波　伸一
横田　良治
荒井　司
川真田　潔
佐久間隆成
松田　誠太
山本　英行
大川　正宏
大坪　俊一
菊地　光
二宮　庸輔
西川　直樹
橋本　徹
半沢　雄喜
丸山　竜一
山田　晃
石附　知美

佐々木公明
佐藤　宏
野田　亨
真島　積生
前田　光彦
横山　邦彦

第30期

植田　慎治
内田　清丈
開高　直人
山崎　俊朗
青木　隆
飯塚　元一
臼田　進
工藤　浩史
重松　雄一
松葉　芳郎
緒方　憲司
鎌田　慎一
平等　計
高瀬　良二
高橋　靖晃
福岡　伸也
堀井　雅一
水野　敏克
宮崎　豊
上野　大
大久保　明雄
立松　義明
舟本　充浩
松田　啓
安藤　秀樹
塩川　喜幸
高椋　研
野路　弘之
森　潤一
青木　伸行
小林　徹彦
佐々木　功
新城　毅
高橋　哲也
竹島　明弘
村田　淳志
目良　宏
吉田

第31期

阿部　守雄
伊沢　豊
伊東　匡
大塚　信之
高田　昇
平田　政行
村田　尚久
森　剛一
森本　泰暢
吉田　敬
池内　豊
上薗　英樹
梅村　洋
太田　恵一
甲斐下　俊
佐々木直人
四條　享
田辺　俊夫
高東　雅志

磯村　美樹
岩井　仁司
大熊　伸治
大野　太郎
唐木　昭浩
木村　親永
菊池　真
北村　秀和
国貞　泰生
斉藤　圭二
関口　陽介
藤田　雅明
横井　俊郎
井上　泰宏
伊崎　寿之
岡田　重和
桂　昌義
鈴木　博史
民長　憲生
堀　聡志
松本　浩之
峯岸　均
武藤　潤
安部竜一郎
伊藤　彰浩
斎藤　純寛
田中　和之
戸高　克彦
鳥羽　克治
中村浩一郎
長屋　文隆
西川　洋
山岸　行人
山崎　裕史
弓削　一郎
明石　達也
裏地　正明
芦沢　一
釜堀　裕久
小泉　繁
小山　恵介
桜庭　智裕
白波瀬丈一郎
関口　勲
高橋　路彦
中島　拓
平田　篤司
平野　哲
井口　益宏
岡田　裕之
加藤　浩之
金成　洋之
小柴　俊
桜井　敬三
須田　俊彦
田中　和之
野沢慎一郎
原　琢也
広田　智之
山口　伸幸
吉本　幸生
阿部　智彦
岩田　丈二
岡崎　友重
金子　泰三
久米　俊郎

広中　紀男
星野　晴彦
増田井出夫
佐藤　俊一
杉本　拓司
竹林　延男
徳山　正雄
林　鐘雄
本田　裕
村戸　真朗
青戸　英仁
太田　雅之
加藤　敏晶
茂松　篤
須賀　直之
竹内　武文
古川　雄斉
増田　聡
森　伸人
安岡　博之
河本　淳孝
諏訪　宏
竹田　忍
角田　周作
渡辺　宗樹

第28期

安達新一郎
阿部　滋
角柄　明彦
釜堀　裕久
川上　幸一
須崎　浩
福田　雄彦
山田　守之
小島　孝博
小杉　公二
鋤柄　淳一
鈴木　忍
田中　秀樹
中村　明夫
若林　裕一
池田　大
岡田　光司
松村　俊雄
後藤　明彦
相馬　稔
田中　真知
長沢誠一郎
松谷　和昭
吉田　真
石黒　謙一
梅田　潤
加藤　幸司
河間　一説
佐伯　治俊
坂本　隆
中村　晃
橋詰　豪
安田　一則
山路　敦史
山田　耕次
石井　常雄
大前　博昭
奥田　正幸
久保田　恭治
吉川　広

成瀬　正一
二瓶　晴郷
新田　良一
深井　正宏
松井　一朗
水谷　幸雄
矢野　文之
伊部　茂晴
石田　恒文
今井　博史
小原　俊彦
小山田　仁
鎌田　尚利
後藤　安秀
桜井　哲夫
田中　聖
田原　敦男
高鳥　義修
高久　篤
中村　康夫
根岸　荘吉
野田　浩
平野　暁
細田　正典
牧内　俊
正岡　裕章
丸目　典紀
丸山　由行
三沢　孝彦
宮下　邦彦
柳原　伸好
吉川　正明
上野　計
上原　裕
加古川勝由
片岡　正憲
川村　元
木元　正士
斉藤　幸広
西平　彰
森　伸之
善木　達明
和田　哲

第27期

青木　信也
角倉　清晃
木村　孝洋
園田　博之
安藤　秀泰
飯田　俊哉
石井　勝也
石松　智弘
岩田　一朗
内海　徹
小松　康孝
中島　康仁
西田　健次
浜田　弘道
堀谷　卓
宮崎　博行
横田　光弘
遠藤喜一郎
大上祐一郎
左京　龍治
染谷　均
田川　雄一
中野　幹也

MESSAGE

お 知 ら せ

●平成元年度事業収支について

平成元年度の事業収支は下記のとおりとなりましたので、お知らせいたします。

繰越金	12,386,397	会報費	4,854,001
名簿収入及び維持運営費	5,002,500	人件費	450,000
		会議費	348,652
入会金	1,125,000		
		式典費	88,000
広告収入	450,000		
		交際費	31,320
寄付金収入	52,000		
		事務局	
パーティ券収入	16,000	通信費	539,330
		事務費	419,705
収穫祭事業	151,233	送金手数料	14,832
ネクタイ事業	51,396	パソコン費	2,805,617
新年会費	76,000		
預金利息	64,725		
収入計	19,375,251	支出計	9,551,457
		繰越金	9,823,794
合計	19,375,251	合計	19,375,251

●維持運営会費の入金状況について

6月に御依頼いたしました維持運営会費の入金状況は次のとおりとなっております。未納の皆様におかれましては、趣旨をご理解のうえご協力いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

慶應志木会　維持運営会費入金状況

(平成2年8月31日現在)

	在籍者数名	会費払込者名	払込率%		在籍者数名	会費払込者名	払込率%
1	94	31	33.0	22	270	55	20.4
2	60	14	23.3	23	271	45	16.6
3	48	9	18.8	24	267	42	15.7
4	45	12	26.7	25	262	43	16.4
5	106	38	35.8	26	268	32	11.9
6	85	25	29.4	27	249	35	14.1
7	98	22	22.4	28	248	40	16.1
8	94	26	27.7	29	277	30	10.8
9	116	30	25.9	30	262	43	16.4
10	196	47	24.0	31	253	27	10.7
11	218	60	27.5	32	262	28	10.7
12	202	55	27.2	33	244	20	8.2
13	212	41	19.3	34	265	36	13.6
14	195	28	14.4	35	266	26	9.8
15	259	57	22.0	36	258	41	15.9
16	260	55	21.5				
17	265	68	25.7				
18	261	33	12.6				
19	263	53	20.2				
20	260	39	15.0		合計	1,344	17.9%
21	259	58	22.4		平均	37.3	17.9%

(注1)　・在籍者数はダブリ(約100名)及び死亡等を含む。
・振込者で無記名者あり。
・ダブリ者入金分両期とも入金扱い。

なお、本件に関するご照会は、下記宛お願いします。

幹事長　大谷　熙(1期)　TEL632-0005
財務委員　大道賢二(12期)　TEL231-1231

編集後記

収穫祭の準備だったのだろうか。夜まで学校にいた。柿畑へ柿を盗りに行って、見つかり、一人目は野火止を飛び越えたが、二人目は落ちた。同期の会の一つ話。

男はだれでも、自分の中に一人か二人の少年を同居させているという。「収穫祭」と聞けば、たちまち少年。血が騒ぐ。(馬)

慶應志木会会報　1990(秋・冬号)●vol.4

平成2年10月20日発行
編集・発行　慶應志木会(慶應義塾志木高等学校同窓会)
〒353 志木市本町4-14-1
発行人　櫻井英太郎
印刷　㈱精興社